



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



卒業おめでとう！！進級おめでとう！！

～子どもたちの成長に拍手～

令和4年度が終わりました。早いものです。新型コロナウイルス感染症の対応も随分緩和の方向にシフトしているとはいえ、今年度を振り返ればやはり「コロナに振り回された1年」となります。学校全体での休業はなかったものの、学年での閉鎖や各種行事の変更などもあり、なかなか落ち着いた学校生活とはなかなかありませんでした。それでも、最終的には多くの行事がなんとか行うことができ、学習進度も遅れなく終了できたことにホッとしています。

コロナ禍の1年ではありましたが、1年は1年。時間の長さはどんなときでも変わりません。この1年間での学び、思い出を大事にしなが、次のステップに進んでほしいと思っています。

今年度も、昨年度に続き、私が意識して子どもたちに繰り返し伝えてきたことは2つあります。1つ目は「+α」です。前向きな姿勢と「もう少し」「少しずつ」の積み重ねを求めるものでした。日々自己ベストの更新を目指し、今の自分を少しずつ大きくしていこうというものでした。

子どもたちは本当によく頑張りました。勉強・生活の見直し、友達への接し方をはじめ、VS活動など、随所に+αの考え方が

生かされているように感じています。そして、「気づき、考え、実行する」を合言葉に主体的に行動する姿が6年生を中心に見られたことは大きな進歩であったように思っています。

2つ目は「命」でした。子どもたちには「死ぬな」というメッセージで送り続けました。世界ではロシアとウクライナの戦争が続き、多くの人が命を落としています。子どもの命も例外ではありません。子どもたちは、もちろん私たちも含めて生きることについては、ほとんど無意識で過ごしているところがあります。安全・安心が当たり前のもので受け取っているところがあるように思えます。「命」について「生きること」については、世界にも目を向けながら時々思いをはせて欲しいと思います。

子どもたちは今年度最後の日まで命をつないでくれました。当たり前のことかも知れませんが、3学期を終え、全員無事家庭にかえすことができることにホッとしています。どうぞ、春休み期間中も事件・事故等に十分注意し、「命を守る」行動をとるよう子どもたちへの声掛けをよろしくをお願いします。

子ども達は1年間、本当によく頑張りました。是非、ご家庭でも大いにほめてあげてください。子ども達を温かく見守るエネルギーこそが、子どもたちの次への活力とつながっていきます。

1年間、大変お世話になりました。

ありがとうございました。

忙しさの中、忘れていましたが、学校のまわりに目をやると、春の息吹も感じられます。身の回りの春を探してみませんか。

